

日本博物館協会 公開シンポジウム 開催のお知らせ

これからの博物館防災を考える

令和4（2022）年 3月 30日（水）13：30～16：30

主催 日本博物館協会 **共催** 国立文化財機構 文化財防災センター

開催方法 Zoom ウェビナーを使用したオンライン開催
※参加定員：500名 ※参加費：無料（日博協会員、非会員とも）

趣 旨

日本における博物館の防災体制の整備は、平成7（1995）年の阪神淡路大震災後の被災文化財レスキュー活動を端緒として、平成23（2011）年の東日本大震災における「文化財等救援委員会」を基礎に、全国的な組織の連携が進められてきました。令和2（2020）年10月に、国立文化財機構に設置された文化財防災センターは、今後の博物館防災の中核的機能を担う組織として大きな期待が寄せられています。

本シンポジウムでは、文化財防災センターの基本的機能と役割を広く共有するとともに、多発する自然災害への具体的対応の方向性をはじめ、多様な文化財防災への対応、また国際的連携等について議論することで、今後の日本における博物館防災の在り方を展望します。

プログラム（案）

- ◆開催あいさつ 錢谷 眞美（日本博物館協会会長）
- ◆企画趣旨説明 半田 昌之（日本博物館協会専務理事）
- ◆基調講演 文化財を未来に継承するためにー文化財防災センターの取り組みー
高妻 洋成（文化財防災センター長）
- ◆報告 1 文化遺産防災ネットワーク推進会議の災害時における活動ガイドライン（動産文化財）について
浜田 拓志（奈良文化財研究所客員研究員）
- ◆報告 2 自然史資料の災害時対応ー初動プロトコルの個別検討にむけてー
佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸課長）
- ◆報告 3 地域防災と文化財レスキューの課題ー岩手県遠野市の後方支援活動からー
前川さおり（遠野市文化課副主幹・学芸員）
- ◆報告 4 博物館防災の国際連携
栗原 祐司（京都国立博物館副館長）
- ◆総合討論・質疑 基調講演者・報告者

※後日 YouTube でのアーカイブ配信も予定しています。

参加申込み方法

- ・下記 Google フォームからお申込みください。
<https://forms.gle/KiGhW1br8BQq7sRT8>
（お申込み受付後、前日までに Zoom の URL 等をメールでお知らせします）
- ・受付期間 2月18日（金）～ 3月28日（月）17：00

お問い合わせ先

日本博物館協会事務局
TEL：03-5832-9108 E-mail：webmaster@j-muse.or.jp



多くの皆様のご参加をお待ちしております！ Google フォームにアクセス→